

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 業務運営体制の確立

- (1) 理事会を中心とした組織体制の整備、病院長の権限強化等
- (2) 本部事務局体制の整備
- (3) 病院事務室の機能強化
- (4) 業務改善に取り組む風土づくり

中期目標	市立病院機構は、中期目標、中期計画に掲げる目標、取組の達成を目指し、自律的、機動的な病院運営を行うこと。そのため、理事会を中心とした組織体制を整備するとともに、市立病院機構内で適切な権限配分を行い、各病院長のリーダーシップの下、迅速で的確な意思決定ができるようにすること。また、職員の積極的な経営参画意識を高め、業務改善に取り組む風土を醸成すること。
中期計画	<p>1 業務運営体制の確立</p> <p>中期目標、中期計画に掲げる目標、取組の達成を目指し、市立病院機構の運営を自律的、機動的に行うため、次のこと取り組みます。</p> <p>(1) 理事会を中心とした組織体制の整備、病院長の権限強化等</p> <p>市立病院機構が自律的、機動的な病院運営を行うため、理事会を中心とした組織体制を整備します。また、病院長のリーダーシップの下で、各病院の実情を踏まえた自主的な病院運営が迅速かつ的確に行えるよう、病院長の権限強化や、説明責任の徹底などの責任の明確化を図ります。</p>

事業年度評価結果（小項目）			
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	3	3	3

【主な取組】

- 理事会規程、組織規程及び職務権限規程を整備し、理事長及び病院長それぞれの役割に応じた権限配分を行った。
- 予算編成において、各病院長の判断により、医療機器整備計画を、病院の実態や必要性に応じて見直し、前倒し整備等を行うこととした。また、病院で購入することができる物品購入の上限額を引き上げ、病院長の権限強化を行った。
- 毎月、各病院長等が出席する経営会議において、法人の主要な課題等について協議し、及び検討するとともに、理事長が毎月各病院をラウンドし、病院の現状把握及び現場での意見交換を行った。

中期計画	(2) 本部事務局体制の整備 市立病院の病院機能の向上、経営改善に係る課題分析や対応策の企画立案が、迅速かつ的確に行える 本部事務局体制の整備を行います。	事業年度評価結果（小項目）			
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
4	3	3	3		

【主な取組】

- 法人化に伴い、契約事務を所管する契約課及び各病院の施設整備、維持改修等を所管する施設整備課を、本部事務局に新たに設置した。
- 病院の看護業務について、専門的な立場から適宜、助言及び指導を行うため、看護総合アドバイザーを配置した（平成26年度～平成28年度）。
- 財務課において、安定した経営基盤を構築し、経営改善に役立つ企画立案を行うため、平成29年度に経営企画係を新設し、担当者を配置した。

中期計画	(3) 病院事務室の機能強化 職員の増員や組織の再編、病院経営や医療事務に係る専門知識を有する職員の確保など、各病院の運 営を支える病院事務室の機能強化を図ります。	事業年度評価結果（小項目）			
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
4	3	3	3		

【主な取組】

- 病院経営に精通した人材を確保するため、病院勤務経験のある者を採用した。
- 医療事務に係る専門知識を有している職員を確保するため、医事業務の管理職としての勤務経験がある者を採用した。
- 広島市民病院及び安佐市民病院については、病院の経営分析、経営改善を専任で行う「企画課」を新設した。

中期計画	(4) 業務改善に取り組む風土づくり 経営状況や業務運営上の課題等について、常に問題意識を持ち、その改善に取り組もうとする組織風土を醸成するとともに、業務運営の改善や効率化について提案しやすい仕組みを検討します。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">事業年度評価結果（小項目）</th></tr> <tr> <th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>	事業年度評価結果（小項目）				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
事業年度評価結果（小項目）														
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度											
3	3	3	3											

【主な取組】	<p>○ 職員の優秀な論文や経営改善アイディアに対しては、理事長が表彰し、自主的な研究活動の促進を図った。</p> <p>○ 各病院の収支状況については、隨時、部長会等で説明し、職員への周知、意識啓発を図った。</p>	関連指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5"><参考実績></th></tr> <tr> <th>区分</th><th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経営アイディア表彰件数</td><td>4件</td><td>4件</td><td>7件</td><td>3件</td></tr> </tbody> </table>	<参考実績>					区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	経営アイディア表彰件数	4件	4件	7件	3件
<参考実績>																		
区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度														
経営アイディア表彰件数	4件	4件	7件	3件														

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 人材の確保、育成

(1) 病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応した人材の確保

中期目標	病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応するため、多様な採用方法・雇用形態を取り入れ、必要な時に必要な医療スタッフ等の人材を確保すること。
中期計画	<p>2 人材の確保、育成 (1) 病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応した人材の確保 収支への影響も踏まえながら、積極的に組織や人員体制の見直しを行い、病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応した人材の確保に取り組みます。 ア 診療体制の拡充 業務の量や質に応じた適切な人員配置を行い、診療・看護体制の充実や医療スタッフの負担軽減を図ります。</p>

事業年度評価結果（小項目）			
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	3	3	3

【主な取組】

- 診療体制を強化するため、4年間で医療職の定員を208名増員した。
- 医療職の嘱託・臨時職員ポスト158を正規職員ポストに切り替えた。
- 看護師については、中途退職者や産育休取得者、育児短時間勤務者の増加による実働者数の不足に対応するため、通常の採用試験とは別に、必要に応じ、年度中途に採用試験などを実施した。医療技術職についても、欠員を解消するため、年度中途に採用試験を実施した。
- 平成27年12月から看護補助者の業務に身体介助業務を加えるなど、業務の見直しを行った。

関連指標

＜参考実績＞

(4年間の定員増の内訳) (単位：人)

職種	広島市民病院	安佐市民病院	舟入市民病院	リハビリテーション病院	合計
医師	5	7	1	—	13
看護師	44	29	14	9	96
薬剤師	22	5	3	—	30
臨床検査技師	1	—	—	—	1
臨床工学技士	4	—	—	—	4
診療放射線技師	9	2	—	—	11
理学療法士	5	1	3	7	16
作業療法士	3	1	—	9	13
言語聴覚士	—	—	—	6	6
生活支援員	—	—	—	2	2
医療ソーシャルワーカー	1	2	1	1	5
相談支援専門員	—	—	—	1	1
介護士	—	—	—	10	10
合計	94	47	22	45	208

中期計画	<p>イ 医療支援センター等の体制強化 地域の医療機関等との連携強化、患者・家族に対する相談支援機能の強化のため、専門職員の増員等により医療支援センター等の体制を強化します。</p>	事業年度評価結果（小項目）			
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
3	3	4	4		

【主な取組】

- 医療相談員や看護師の増員を行うとともに、嘱託や臨時職員であった医療相談員の正規職員化を行った。
- 入院患者の利便性の向上、医師・病棟看護師の負担軽減を図るため、入院手術、術前検査等予約等の一元化を順次、進めた。

中期計画	<p>ウ 多様な採用方法と雇用形態の導入 ・新規採用に加え、経験者採用の拡大、退職者の再任用・再雇用の活用などにより、迅速、柔軟な人材確保を進めます。 ・多様な勤務時間、勤務シフトを導入し、より幅広く必要な人材の確保に取り組みます。</p>	事業年度評価結果（小項目）			
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
3	3	3	3		

【主な取組】

- 法人化のメリットを生かし、通常の採用試験とは別に経験者を対象とした年度中途の採用試験を、看護師、薬剤師等の医療職について実施した。
- 育児短時間勤務を行っている看護師について、勤務時間を見直し、より働きやすい勤務形態が選択できるよう、制度改正を行った。
- 業務の実態に対応するため、早出勤務及び遅出勤務の開始時間を随時見直した。

中期計画	工 医師確保の推進 臨床研修プログラムの充実や指導体制の整備等に取り組み、臨床研修医や後期研修医の受入拡大、定着を図ります。	事業年度評価結果（小項目）			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		3	3	3	3

【主な取組】

- 広島市民病院及び安佐市民病院では、臨床研修医師向け病院説明会に参加し研修プログラムのPRをするとともに、指導医体制強化のため指導医資格取得講習会に医師を派遣し、それらの指導医を中心に研修プログラムの充実を図った。
- 舟入市民病院は、「協力型臨床研修病院」の指定を受けており、基幹型臨床研修病院である広島大学病院臨床実習教育研修センターなどから、初期臨床研修医を受け入れた。
- リハビリテーション病院では、4学会から教育研修施設の認定を受け、各学会の研修プログラムを充実して受入体制を整えた。また、広島大学病院の協力型臨床研修指定病院となり、平成27年度からは、初期研修医を受け入れた。

<参考実績>

(参考) 臨床研修医受入状況

区分	平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	初期研修	後期研修	合計									
広島市民病院	26	63	89	27	62	89	29	53	82	29	52	81
安佐市民病院	15	32	47	13	28	41	17	21	38	19	23	42
舟入市民病院	12	—	12	15	—	15	13	—	13	14	—	14
リハビリテーション病院	—	1	1	3	1	4	—	1	1	1	1	2
合計	53	96	149	58	91	149	59	75	134	63	76	139

中期計画	<p>才 看護師確保の推進 広島市立看護専門学校や他の看護師養成機関等との連携強化を図り、優れた看護師の確保に取り組みます。</p>	事業年度評価結果（小項目）			
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
4	4	3	3		

【主な取組】
<ul style="list-style-type: none"> ○ 採用試験受験者数の拡大を図るため、各病院において病院説明会を開催し、及び看護師採用情報誌主催の就職ガイダンスへ参加するとともに、広島市立看護専門学校を中心とする看護師養成施設を訪問し、連携強化及び受験生の確保について協力を依頼した。 ○ 優秀な人材を早期に確保するため、平成29年度から推薦試験を導入した。 ○ 合格後の採用辞退をできるだけ少なくするため、試験の合格者を対象として、合同懇談会を実施した。

中期計画	<p>力 看護師等の安定的な職場定着の推進 看護師等の職場への定着を図るため、意欲的に働くことができる働きやすい職場環境づくりや指導体制の充実に取り組みます。</p>	事業年度評価結果（小項目）			
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
3	3	3	3		

【主な取組】
<ul style="list-style-type: none"> ○ 看護師の負担を軽減し、安定的な職場定着を推進するため、看護補助者の業務に身体介助業務を加えるなどの業務の見直しを行った。 ○ 子育てと仕事との両立を支援するため、育児休業から復帰する際、個別・丁寧に面談を行い、育児短時間勤務制度の周知を図った。 ○ 平成26年度から平成28年度まで配置した看護総合アドバイザーと各病院の看護部長等が毎月看護アドバイザーミーティングを行い、現状と課題を協議し、その中で指導体制についても検討を行い、4病院間の研修の企画等を進めた。

中期計画	キ 病院間の人事交流の推進 各病院が必要とする人材を市立病院全体で確保・育成するため、病院間の人事交流を推進します。	事業年度評価結果（小項目）			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		3	3	3	3

【主な取組】	<参考実績>	関連指標					
		病院間の異動者数					
		区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
		看護師	8人	6人	4人	3人	21人
		薬剤師	7人	6人	5人	8人	26人
		診療放射線技師	4人	4人	4人	6人	18人
		理学療法士	—	—	2人	6人	8人
		作業療法士	—	—	1人	3人	4人
		医療ソーシャルワーカー	—	—	—	2人	2人
		歯科衛生士	—	—	—	1人	1人
		臨床検査技師	1人	1人	—	2人	4人
		臨床工学技士	—	1人	—	—	1人
		医療相談員	—	1人	—	—	1人
		計	20人	19人	16人	31人	86人

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 人材の確保、育成

(2) 事務職員の専門性の向上

中期目標	医療制度改革や診療報酬改定、医療需要の変化等に迅速かつ的確に対応するため、戦略的な病院経営を企画・立案できる事務職員を確保するとともに、研修の充実などにより専門性の向上を図ること。
中期計画	<p>2 人材の確保、育成 (2) 事務職員の専門性の向上</p> <p>ア 病院経営に関する知識・経験を有する人材の民間等からの採用 事務長をはじめとする事務職員について、病院経営や医療事務等に精通した人材の民間等からの採用について検討します。</p>

事業年度評価結果（小項目）			
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	3	3	3

【主な取組】

- 平成26年度及び平成27年度採用者について病院勤務経験のあるプロバー事務職員を採用した。
- 平成29年度に医療事務に係る専門知識を有する職員を確保するため、医事業務の管理職としての勤務経験がある者を採用した。

中期計画	<p>イ 法人職員の計画的な採用と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島市からの派遣職員を法人が採用する職員に段階的に切り替えるため、病院経営及び医療事務に係る専門知識を有する職員を採用する等の人材の確保に努めた。 ・事務職員に対しては、本部事務局が新規採用職員研修を実施したほか、各病院で医療クラークを対象とした実務研修、医事課職員を対象とした診療報酬請求、DPC（診断群分類包括医療制度）の分析に関する研修などを実施し、専門性の向上を図った。 ○ 理事長の特命により「プロバー教育委員会」を設置し、事務職員の研修体系についての検討を実施した。
------	--

事業年度評価結果（小項目）			
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	3	3	3

【主な取組】

- 広島市からの派遣職員を法人が採用する職員に段階的に切り替えるため、病院経営及び医療事務に係る専門知識を有する職員を採用する等の人材の確保に努めた。
- 事務職員に対しては、本部事務局が新規採用職員研修を実施したほか、各病院で医療クラークを対象とした実務研修、医事課職員を対象とした診療報酬請求、DPC（診断群分類包括医療制度）の分析に関する研修などを実施し、専門性の向上を図った。
- 理事長の特命により「プロバー教育委員会」を設置し、事務職員の研修体系についての検討を実施した。

関連指標

<参考実績>

(法人採用職員数) (事務職)

(単位：人)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	計
法人採用人数	9(9)	11(8)	7(6)	7(4)	34(27)
派遣者数	79	71	65	61	—

※ () 内の数値は、市派遣職員からの切替数

中期計画	<p>ウ 経営コンサルタント等の活用 効果的な経営戦略を企画立案するため、必要に応じて医療経営コンサルタント等の活用を検討します。</p>	事業年度評価結果（小項目）			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		3	3	3	3

【主な取組】

- 診療報酬の改定等に適切に対応するため、診療報酬の請求や病院経営に必要なデータ分析に関する知識等を有する専門業者を活用した。
- 専門講師を招へいし、診療報酬改定に係る研修会等を実施した。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

- 2 人材の確保、育成
 - (3) 研修の充実

中期目標	<p>ア 医療スタッフの専門性や医療技術の向上を図るために、院内研修の充実や各種学会・研修会への参加、派遣研修など多様な研修機会の拡充を図ること。また、各種の資格取得のための研修参加を促進すること。</p> <p>イ 教育研修機能の充実を図り、臨床研修医及び後期研修医を積極的に受け入れること。また、広島市立看護専門学校やその他の関係教育機関等との連携を強化し、優れた看護師等の医療スタッフの確保、育成に努めること。</p>
中期計画	<p>2 人材の確保、育成</p> <p>(3) 研修の充実</p> <p>ア 多様な研修機会の提供と参加しやすい環境づくり</p> <p>院内研修の充実、各種学会・研修会への参加の促進、新たな派遣研修の創設など、多様な研修機会の提供と参加しやすい環境づくりに取り組みます。</p>

事業年度評価結果（小項目）

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	3	3	3

【主な取組】

- 新規採用者に対して、オリエンテーションを実施するとともに、分野ごとに医療現場で一日も早く戦力として働くことができる人材の育成を目的とした研修を実施した。
- 医療スタッフが日々高度化する医療知識及び技術を身に付けていくため、がん研修会やがんセミナー、基礎看護技術研修会、臨床検査研修会など専門分野に関する研修会、多職種を対象とした感染対策研修会、リスクマネジメント研修会等を実施した。
- 全職員を対象として、接遇研修やメンタルヘルス研修を実施した。
- 広島市民病院では、産業カウンセラーによる管理者向け「メンタルヘルス研修」を実施した。
- 安佐市民病院では、新専門医制度において内科及び総合診療科については研修基幹病院としてのプログラム申請を行うとともに、その他の科に関しては広島大学病院の連携施設として専攻医を受け入れるための申請を行った。
- リハビリテーション病院では、地域リハビリテーション支援及び医療介護連携を目的とした院外講師による研修会を、また安佐南警察署の指導の下に、不審者対応を想定した防犯訓練を実施した。
- 国内の学会や研修会等への参加を進めるだけでなく、国際規模の学会で、市立病院における治療内容等を発表したり、世界レベルの最新の知見に触れる機会を与えるため、国際学会への派遣も行った。
- 4病院合同のメンタルヘルス研修会を開催した。

中期計画	<p>イ 資格研修参加の促進 専門資格取得のための教育研修への参加を支援します。</p>	事業年度評価結果（小項目）			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		3	3	3	3

【主な取組】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門教育を受けるために必要な費用等を法人が負担し、認定看護師等の資格取得を促進した。 	関連指標	<p><参考実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>認定看護師等数 (平成29年度末時点)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院</td><td>認定看護師 27名</td></tr> <tr> <td>安佐市民病院</td><td>認定看護師 18名 特定行為研修修了者 1名</td></tr> <tr> <td>舟入市民病院</td><td>認定看護師 7名</td></tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td><td>認定看護師 4名 療法士 2名</td></tr> </tbody> </table>	区分	認定看護師等数 (平成29年度末時点)	広島市民病院	認定看護師 27名	安佐市民病院	認定看護師 18名 特定行為研修修了者 1名	舟入市民病院	認定看護師 7名	リハビリテーション病院	認定看護師 4名 療法士 2名
区分	認定看護師等数 (平成29年度末時点)												
広島市民病院	認定看護師 27名												
安佐市民病院	認定看護師 18名 特定行為研修修了者 1名												
舟入市民病院	認定看護師 7名												
リハビリテーション病院	認定看護師 4名 療法士 2名												

中期計画	<p>ウ 新規採用看護師等に対する指導・研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育担当看護師を配置し、新規採用の看護師への指導や研修の充実を図ります。 ・広島市立看護専門学校や他の関係教育機関等からの看護実習生等の受入れを拡大するため、教育研修機能の充実を図ります。 	事業年度評価結果（小項目）			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		3	3	3	3

【主な取組】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市民病院及び安佐市民病院では、教育担当看護師が新規採用看護師等の教育担当として指導及び研修を行った。 ○ 看護実習生を指導するに当たり、指導者に広島県の実習指導者講習会を受講させ、実習指導する看護師の教育に取り組んだ。 ○ 新規採用者に対する研修に力を注いだほか、中途採用者及び市立病院間の異動者に対しても研修を実施した。 ○ 看護師長、主任看護師等に対する管理研修を年に複数回実施するなど充実を図るとともに、大学等外部からの講師を招き、講演会及び研修会を実施した。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

- 3 弾力的な予算の執行、組織の見直し
 - (1) 弾力的な予算執行
 - (2) 契約手法及び契約に係る執行体制の見直し
 - (3) 施設整備に係る執行体制の見直し
 - (4) 病院の維持管理体制の見直し

中期目標	地方独立行政法人制度の利点を十分に生かし、弾力的な予算執行、多様な契約手法の導入を進めるとともに、医療需要等の変化に即して、迅速・柔軟に組織や人員配置を見直すこと。													
中期計画	<p>3 弾力的な予算の執行、組織の見直し 地方独立行政法人制度の利点を十分に生かし、弾力的な予算執行、多様な契約手法の導入を進めるとともに、医療需要等の変化に即して、迅速・柔軟に組織や人員配置を見直します。</p> <p>(1) 弾力的な予算執行</p> <ul style="list-style-type: none">・機動力のある予算措置や病院実態に即した弾力的な予算執行を行い、効率的かつ効果的な業務運営を行います。・各病院長への適切な権限配分に基づき、病院長のリーダーシップの下で迅速かつ的確な予算執行を行います。	<table border="1"><thead><tr><th colspan="4">事業年度評価結果（小項目）</th></tr><tr><th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>3</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td></tr></tbody></table>	事業年度評価結果（小項目）				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	2	3	3
事業年度評価結果（小項目）														
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度											
3	2	3	3											

【主な取組】

- 事業の進捗や病院の実情に応じて、医療機器等を前倒しで購入する等弾力的な予算執行を行った。
- 予算編成時に、各病院長の意見を反映させて、医療機器整備計画を病院の実態や必要性に応じて見直した。

中期計画	(2) 契約手法及び契約に係る執行体制の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・長期・複合契約の対象範囲の拡大や価格交渉落札方式などの多様な契約手法を導入し、競争性の向上及び費用の縮減を図ります。 ・公正性・透明性を損ねない範囲で、物品調達等に係る随意契約の適用範囲を拡大し、契約事務の機動性の向上及び効率化を図ります。 ・本部事務局に契約事務を統括する部署を設置し、契約事務の適正化及び効率化を図ります。 	事業年度評価結果（小項目）			
	平成26年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	3		3	3	3	

【主な取組】

- 3千万円以上の高額医療機器の一部について、医療機器の調達と保守点検業務を合わせた長期・複合契約で発注した。
- 医事業務の委託について、スムーズな移行期間を確保するため、業務履行実施前の準備期間を考慮した長期契約に見直した。また、質の向上を目的として公募型プロポーザル方式を採用した。
- 契約事務の機動性の向上及び効率化の観点から、工事について随意契約の上限額を250万円から500万円に引き上げた。
- 価格交渉落札方式制度を制定し、2千万円以上の高額医療機器の調達を対象として実施した。
- 後発医薬品の採用拡大について、先発医薬品から後発医薬品への切替えを推進した。
- 法人化に伴い、契約事務の適正化及び効率化を図るため、本部事務局に契約事務を統括する「契約課」を設置した。

中期計画	(3) 施設整備に係る執行体制の見直し	<p>本部事務局に建設工事等の発注を担当する部署を設置するとともに、積算、監督及び検査業務の一部を民間委託することにより、各病院の施設整備を迅速、適切に行うための体制を整備します。</p>	事業年度評価結果（小項目）			
	平成26年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	3		3	3	3	

【主な取組】

- 法人化に伴い、各病院の施設整備を行う部署として、本部事務局に「施設整備課」を設置し、各病院の施設整備を行うよう体制を整備した。
- CM方式を活用し、建設工事等の積算、検査などの業務を民間委託するとともに、各病院からの要望による施設整備を行った。

中期計画	(4) 病院の維持管理体制の見直し 委託業者を含めた病院の維持管理関係者の連絡会議を設置するなど、病院内の各種業務間の連携の強化を図り、維持管理がより効果的、効率的に行えるよう病院の維持管理体制の見直しに取り組みます。	事業年度評価結果（小項目）			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		3	3	3	3

【主な取組】

- 4病院の維持管理関係者会議を開催するとともに、建物総合管理業務についての連絡会議において、建物総合管理委託での維持管理体制の状況と効果を確認した。
- 各病院の施設・設備の老朽度の調査を行い、中長期病院施設設備改修計画（長寿命化計画）を策定し、効果的、効率的に長寿命化工事を実施した。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

4 意欲的に働くことのできる、働きやすい職場環境づくり

(1) 病院の実態に即した人事・給与制度の構築

中期目標	病院で働く医療スタッフ等が意欲的に働くことができるよう、法人の経営状況を踏まえつつ、職員の勤務実態や貢献度が適正に評価される人事・給与制度を構築すること。
中期計画	<p>4 意欲的に働くことのできる、働きやすい職場環境づくり (1) 病院の実態に即した人事・給与制度の構築</p> <p>職員の給与制度は、広島市に準じたものとします。また、病院職員が意欲的に働くことができるよう、法人の経営状況を踏まえつつ、勤務実態に応じた手当の新設など、職員の勤務実態や貢献度が適正に評価される人事・給与制度を構築します。</p>

事業年度評価結果（小項目）			
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	3	3	3

【主な取組】

- 給与制度について、広島市人事委員会の勧告を踏まえ、広島市と同様に給与制度の改定を行った。
- 組織規模及び業務分担に応じたポストの増設、勤務実態に応じた手当の新設など、職員の職責を明確化し、意欲的に働くことのできる人事・給与制度の見直しを行った。
- また、手当の新設及び見直しについて、各病院の副院長については、管理職業務以外に長時間の診療にも関わっている実態を考慮し、特殊勤務手当を新設するとともに、手術室に勤務する看護師等については、深夜又は休日の緊急手術に従事した場合の負担に対する手当の新設などを行った。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

4 意欲的に働くことのできる、働きやすい職場環境づくり

(2) 適切な役割分担と業務の負担軽減

中期目標	病院の実態に即して、医療スタッフの業務を補完する補助職員の採用等により、適切な役割分担の下、医療スタッフの負担軽減を図ること。													
中期計画	<p>4 意欲的に働くことのできる、働きやすい職場環境づくり (2) 適切な役割分担と業務の負担軽減</p> <p>医療クラークや看護補助者等、医療スタッフが行う業務を補助する職員を増員し、医療スタッフの負担軽減を図るとともに、迷惑患者等に対応する専門職員を配置するなど、業務に専念できる職場環境の整備に取り組みます。</p>	<table border="1"><thead><tr><th colspan="4">事業年度評価結果（小項目）</th></tr><tr><th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr></tbody></table>	事業年度評価結果（小項目）				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
事業年度評価結果（小項目）														
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度											
3	3	3	3											

【主な取組】

- 病棟の看護師の負担を軽減するため、平成27年12月から業務員による清潔・排泄・食事などの介助業務を開始し、業務員を介助業務員に順次移行した。
- リハビリテーション病院において、重症患者の受入体制を強化するため、段階的に嘱託職員である病棟介護士の正規職員化及びその拡充に努めた。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

4 意欲的に働くことのできる、働きやすい職場環境づくり

(3) ワーク・ライフ・バランスの推進

中期目標	子育て支援の充実など、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組むこと。								
中期計画	<p>4 意欲的に働くことのできる、働きやすい職場環境づくり (3) ワーク・ライフ・バランスの推進 ア 子育てと仕事との両立の支援 育児短時間勤務制度の維持や院内保育の充実など、職員の子育てと仕事との両立を支援します。</p> <p style="text-align: right;">事業年度評価結果（小項目）</p> <table border="1"><thead><tr><th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr></tbody></table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度						
3	3	3	3						

【主な取組】

- 子育てと仕事との両立を支援するため、育児休業から復帰する際、個別・丁寧に面談を行うとともに、育児短時間勤務制度の周知を図った。
- これまで正規職員のみ認められていた育児のための部分休業、介護時間を嘱託職員、臨時職員にも拡大した。
- 子育てと仕事の両立を支援するため、夜間保育について検討を行い、平成30年度から院内保育を利用している乳幼児の兄弟姉妹についても夜間保育を利用できるよう対象者を拡大した。

中期計画	イ 時間外勤務の削減 時間外勤務、休日勤務の削減等に取り組み、職員の健康保持や子育てを支援します。	事業年度評価結果（小項目） <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度							
3	3	3	3							

【主な取組】

- 毎月、全職員の時間外勤務時間数をチェックし、基準を超える勤務時間の職員には産業医による面談を受けさせることで、超過勤務が心身に与える悪影響や時間外削減の必要性についての意識啓発、メンタルサポートを行った。

中期計画	ウ メンタルヘルス対策の実施 職員の心の健康対策として、過重労働による健康障害の防止のための教育・研修の実施、相談体制の整備、職場復帰支援等を推進します。	事業年度評価結果（小項目） <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度							
3	3	3	3							

【主な取組】

- 各病院においてメンタルヘルス部会を開催し、メンタルヘルスに関する様々な問題点について議論し、職員間での意識啓発を図った。
- 職員のストレスチェックを行い、職員のメンタル状況を把握するとともに、相談窓口の周知を図り、産業医、保健師等が必要な相談・助言を行った。
- 職員のハラスマントについて、早期に対応し、その被害の防止を図るため、ハラスマント対策基本方針及びハラスマント相談対応マニュアルを作成し、ハラスマント相談員を設置するとともに、職員への周知を図った。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

5 外部評価等の活用

中期目標	会計監査人による監査、広島市病院事業地方独立行政法人評価委員会による評価等に加え、患者等利用者の意見を踏まえ、法人の業務運営の改善を図ること。									
中期計画	5 外部評価等の活用 会計監査人による監査等 会計監査人による監査、評価委員会による評価等の結果を踏まえ、速やかに対応を検討し、必要な業務運営の改善に取り組みます。また、病院運営の透明性を高めるため、その結果や対応について、ホームページ等を活用して積極的に公開します。	事業年度評価結果（小項目） <table border="1"><thead><tr><th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr></tbody></table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	3
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度							
3	3	3	3							

【主な取組】

- 会計監査人による、病院の医薬品等の棚卸の立会い、財務諸表等の決算に係る審査等を行った。
- 監事監査規程に基づき、監事による4病院の実地監査及び書類監査を行った。
- 会計規程に基づき、本部事務局職員が、毎月、本部事務局及び各病院において、現金残高の確認等の内部監査（自主監査）を実施した。
- 会計監査、監事監査の結果は、理事長が報告を受けた後、理事会へ説明し、及び報告した上で、広島市へ報告するとともに公表した。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

経営の安定化の推進

- (1) 中期目標期間中の経常収支の黒字の維持
- (2) 診療科別・部門別の収支状況の把握と迅速な対応
- (3) 経費の削減
- (4) 収入の確保

中期目標	<p>ア 法人の経営努力だけでは維持することが困難な公共性の高い医療を提供するために必要となる経費については、引き続き広島市が負担するが、広島市経費負担後の中期目標期間中の経常収支の黒字を維持すること。</p> <p>イ 適正な在院日数や病床の管理、診療報酬改定への的確な対応、適切な未収金対策に引き続き取り組むとともに、長期契約など多様な契約手法の導入による調達コストの削減など、地方独立行政法人制度の利点を生かした効率的な病院運営を行うこと。</p>																	
中期計画	<p>経営の安定化の推進</p> <p>(1) 中期目標期間中の経常収支の黒字の維持</p> <p>公共性の高い医療を提供するために必要な広島市からの運営費負担金の交付の下、中期目標期間中の経常収支の黒字を維持します。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; width: fit-content; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">【目標値】 (単位: %)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成29年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>102.5</td> <td>100.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※経常収支比率 = (経常収益 / 経常費用) × 100</p> <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">事業年度評価結果（小項目）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table> </div>	【目標値】 (単位: %)			区分	平成24年度実績	平成29年度目標値	経常収支比率	102.5	100.6	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	2	2	2
【目標値】 (単位: %)																		
区分	平成24年度実績	平成29年度目標値																
経常収支比率	102.5	100.6																
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度															
3	2	2	2															

<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 每月開催する経営会議において、各病院の経営指標の現状と課題及びそれらの対応策を報告し、意見交換を行って健全な病院運営を行うよう努めた。 ○ 平成28年10月には本部事務局が収支改善アイディアを募集し、収支の改善が早期に見込まれ、その効果が大きいと考えられるものについて、実現できるよう各病院で検討を進めた。 	<p>関連指標</p> <p><目標値に対する実績></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; width: fit-content; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5">【実績】 (単位: %)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>平成26年度 実績</th> <th>平成27年度 実績</th> <th>平成28年度 実績</th> <th>平成29年度 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>102.2</td> <td>98.9</td> <td>98.4</td> <td>99.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※経常収支比率 = (経常収益 / 経常費用) × 100</p>	【実績】 (単位: %)					区分	平成26年度 実績	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績	経常収支比率	102.2	98.9	98.4	99.6
【実績】 (単位: %)																
区分	平成26年度 実績	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績												
経常収支比率	102.2	98.9	98.4	99.6												

中期計画	(2) 診療科別・部門別の収支状況の把握と迅速な対応 各病院の診療科別、部門別の収支状況を、常時把握、分析し、迅速に対応策を検討、実施します。	事業年度評価結果（小項目）			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		3	3	3	3

【主な取組】

- 平成27年度の病院総合情報システムの更新又は導入に合わせ、診療科別・部門別などの原価計算システムを導入した。
- 地域における広島市民病院の診療実績を把握するため、厚生労働省が公表した平成27年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要に基づき、全国、中四国、広島県内及び広島医療圏内におけるDPC請求病院との各種比較（症例件数、在院日数、再入院率、手術等治療実績、救急搬送件数及び転帰状況等）を行い、資料に取りまとめ、院内に配付した。
- 広島市民病院及び安佐市民病院では術式ごとのコスト等を可視化し、手術室及びカテール検査室の運用の効率化及び診療材料費の再検討を行うことにより収支状況の改善を図るため、外部委託による稼働状況の分析や診療科別原価計算の検討を行った。
- また、外部委託による手術材料のキット化を進め、手術室業務の効率化と負担軽減を図った。また、「手術室運営委員会」において、外部委託による稼働状況の分析や診療科別原価計算による収益状況等の報告を行い、医師のコスト意識向上を図った。

中期計画	(3) 経費の削減	<ul style="list-style-type: none"> 長期契約など多様な契約手法の導入により競争性を高め、調達コストの削減を図ります。 各病院で使用する医薬品や診療材料の品目の共通化を進め、共同購入の拡大等に取り組みます。 診療経費の節減や患者負担の軽減の観点から、後発医薬品の採用拡大に取り組みます。 <p>【目標値】後発医薬品採用品目比率 (単位: %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成29年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院</td> <td>7.1</td> <td>14.0</td> </tr> <tr> <td>安佐市民病院</td> <td>10.0</td> <td>16.0</td> </tr> <tr> <td>舟入市民病院</td> <td>11.9</td> <td>17.0</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td> <td>20.6</td> <td>22.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※採用品目比率 = (後発医薬品目数 / 医薬品目数総数) × 100</p> <p>・医療の質の向上、医療安全の確保、患者サービスの向上などに十分に配慮した上で、職員の適正配置、時間外勤務の削減などを行って、適正な人件費の維持に努めます。</p> <p>【目標値】 (単位: %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成26年度予算</th> <th>平成29年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費対医業収益比率</td> <td>54.9</td> <td>54.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※給与費対医業収益比率 = (給与費 / 医業収益) × 100 ※給与費は、退職手当を除く。 ※第1期中期目標期間の給与費対医業収益比率は、法人化による運営体制強化のため、職員の増員等に積極的に取り組むことから、平成26年度予算の比率と比較することとした。</p>	区分	平成24年度実績	平成29年度目標値	広島市民病院	7.1	14.0	安佐市民病院	10.0	16.0	舟入市民病院	11.9	17.0	リハビリテーション病院	20.6	22.0	区分	平成26年度予算	平成29年度目標値	給与費対医業収益比率	54.9	54.1	<p style="text-align: center;">事業年度評価結果(小項目)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	4	3	3	4
区分	平成24年度実績	平成29年度目標値																														
広島市民病院	7.1	14.0																														
安佐市民病院	10.0	16.0																														
舟入市民病院	11.9	17.0																														
リハビリテーション病院	20.6	22.0																														
区分	平成26年度予算	平成29年度目標値																														
給与費対医業収益比率	54.9	54.1																														
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																													
4	3	3	4																													

【主な取組】

- 回診用X線撮影装置等の購入及び保守点検業務について、長期・複合契約により一括発注し、調達コスト及び管理コストの削減を図った。
- 複数病院における共同購入については、予算編成時に各病院に働きかけを行うとともに、同一病院内で調達する複数の医療機器については、可能な限り同一規格に統一することでスケールメリットを生かした価格交渉を行った。
- 診療材料の共通化にあたり、循環器内科で協議を行った結果、広島市民病院及び安佐市民病院において原則最安値の診療材料を使用することとした。
- 後発医薬品の採用拡大について、先発医薬品から後発医薬品への切替えを推進した。
- 職員の適正配置等により、適正な人件費の維持に努めた。

関連指標

<目標値に対する実績>

後発医薬品採用品目比率 (各病院3月末実績) (単位: %)

区分	平成26年度 実績	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績
広島市民病院	14.1	15.4	15.6	16.1
安佐市民病院	15.5	17.0	20.2	18.1
舟入市民病院	17.3	21.6	23.0	24.5
リハビリテーション病院	23.3	26.1	27.2	27.0

※採用品目比率 = (後発医薬品目数 / 医薬品目数総数) × 100

(単位: %)

区分	平成26年度 実績	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績
給与費対医業収益比率	52.2	52.6	53.7	53.4

※給与費対医業収益比率 = (給与費 / 医業収益) × 100

※給与費は、医業費用の給与費から退職給付費用を除いた額

中期計画	<p>(4) 収入の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の疾病動向や診療報酬改定の情報収集、分析を行い、それらに迅速かつ的確に対応した病院経営を行います。 地域の医療機関との役割分担と連携の下、適正な在院日数や病床の管理を行い、診療報酬収入の確保に努めます。 <p>【目標値】病床利用率 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>平成24年度実績</th><th>平成29年度目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院（一般病床）</td><td>96.4</td><td>96.4</td></tr> <tr> <td>安佐市民病院</td><td>87.7</td><td>88.6</td></tr> <tr> <td>舟入市民病院（内科、外科）</td><td>72.9</td><td>80.0</td></tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td><td>92.0</td><td>96.0</td></tr> </tbody> </table> <p>※病床利用率 = (入院延べ患者数／診療日数) ÷ 病床数 ※入院延べ患者数は退院日を含む。 ※舟入市民病院の病床利用率は、小児科病床を除く内科、外科の病床利用率 診療報酬制度に基づく適正な診療、事務処理を徹底し、請求漏れの解消、査定減（診療報酬を支払基金等に請求した際の減額）の縮減を図ります。 収入の確保及び公平性の観点から、医療費個人負担分に係る未収金の発生防止に取り組むとともに、回収困難な事案については弁護士法人への回収委託等を行うなど、発生した未収金の早期回収に取り組みます。</p> <p>【目標値】医療費個人負担分の収納率 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>平成24年度実績</th><th>平成29年度目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院</td><td>94.4</td><td>95.0</td></tr> <tr> <td>安佐市民病院</td><td>93.3</td><td>94.0</td></tr> <tr> <td>舟入市民病院</td><td>91.1</td><td>92.0</td></tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td><td>99.0</td><td>99.0</td></tr> </tbody> </table> <p>※現年分収納率と滞納額越分収納率とを合わせた収納率</p>	区分	平成24年度実績	平成29年度目標値	広島市民病院（一般病床）	96.4	96.4	安佐市民病院	87.7	88.6	舟入市民病院（内科、外科）	72.9	80.0	リハビリテーション病院	92.0	96.0	区分	平成24年度実績	平成29年度目標値	広島市民病院	94.4	95.0	安佐市民病院	93.3	94.0	舟入市民病院	91.1	92.0	リハビリテーション病院	99.0	99.0	<p>事業年度評価結果（小項目）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	3	3	3	2
区分	平成24年度実績	平成29年度目標値																																						
広島市民病院（一般病床）	96.4	96.4																																						
安佐市民病院	87.7	88.6																																						
舟入市民病院（内科、外科）	72.9	80.0																																						
リハビリテーション病院	92.0	96.0																																						
区分	平成24年度実績	平成29年度目標値																																						
広島市民病院	94.4	95.0																																						
安佐市民病院	93.3	94.0																																						
舟入市民病院	91.1	92.0																																						
リハビリテーション病院	99.0	99.0																																						
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																					
3	3	3	2																																					

<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療報酬改定に関する調査・分析・検証を行うとともに、施設基準取得のため、職員配置等の検討や必要な研修へ医師等を派遣するなど、収入確保に向けた取組を進めた。 診療報酬の支払基金等への請求に当たっては、医師及び事務職員による診療の妥当性や算定誤りのチェックを行い、適正な請求に努めている。また、査定資料を医師に情報提供し、請求漏れや査定減の縮減に努めている。 円滑な入退院調整を図るため、入院支援室の設置や増員などにより、医療支援センター等の体制を強化した。 従前から医療費個人負担分に係る未収金の発生防止に取り組むとともに、回収困難な事案については弁護士法人への回収委託等を行うなど、発生した未収金の早期回収に取り組んだ。 	<p>関連指標</p> <p><目標値に対する実績></p> <p>病床利用率 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>平成26年度 実績</th><th>平成27年度 実績</th><th>平成28年度 実績</th><th>平成29年度 実績</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院 (一般病床)</td><td>95.6</td><td>96.4</td><td>95.8</td><td>96.7</td></tr> <tr> <td>安佐市民病院</td><td>87.4</td><td>84.0</td><td>85.7</td><td>88.5</td></tr> <tr> <td>舟入市民病院 (内科、外科)</td><td>78.8</td><td>76.6</td><td>82.9</td><td>76.1</td></tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td><td>95.7</td><td>96.1</td><td>96.5</td><td>95.1</td></tr> </tbody> </table> <p>※病床利用率 = (入院延べ患者数／診療日数) ÷ 病床数</p>	区分	平成26年度 実績	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績	広島市民病院 (一般病床)	95.6	96.4	95.8	96.7	安佐市民病院	87.4	84.0	85.7	88.5	舟入市民病院 (内科、外科)	78.8	76.6	82.9	76.1	リハビリテーション病院	95.7	96.1	96.5	95.1
区分	平成26年度 実績	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績																						
広島市民病院 (一般病床)	95.6	96.4	95.8	96.7																						
安佐市民病院	87.4	84.0	85.7	88.5																						
舟入市民病院 (内科、外科)	78.8	76.6	82.9	76.1																						
リハビリテーション病院	95.7	96.1	96.5	95.1																						

- 舟入市民病院では、人間ドックのパンフレットを更新するなど広報に努め、健診者数の増を図った。また、平成30年度に向けて、新たに公立学校共済組合の健診実施機関となるとともに、オプションの充実についての検討を行った。

※入院延べ患者数は退院日を含む。

※舟入市民病院の病床利用率は、小児科病床を除く内科、外科の病床利用率

医療費個人負担分の収納率
(単位: %)

区分	平成26年度 実績	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績
広島市民病院	95.6	95.5	96.6	95.7
安佐市民病院	94.9	94.0	94.3	94.9
舟入市民病院	92.0	92.0	93.5	93.3
リハビリテーション病院	96.9	95.6	96.8	95.7

※現年分収納率と滞納繰越分収納率とを合わせた収納率

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置
安佐市民病院の建替えと医療機能の拡充

中期目標	耐震性の向上と老朽化・狭隘化の解消、高度で先進的な医療機能の拡充等への対応を図るため、安佐市民病院の建替えを進めること。また、建替えに当たっては、広島市と十分に連携して取り組むこと。																							
	<p>1 安佐市民病院の建替えと医療機能の拡充</p> <p>(1) 基本的な考え方</p> <p>耐震性の向上と老朽化・狭隘化の解消、高度で先進的な医療機能の拡充等を図るため、安佐市民病院の建替えを進めます。</p> <p>建替えに当たっては、高度で先進的な医療機能、災害拠点病院としての機能及びべき地医療機関としての機能を荒下地区に、日常的に高齢者などの地域住民が受診できる医療機能等を広島市、関係機関と協議しながら、現在の北館に整備します。</p> <p>(2) 整備する場所</p> <p>ア 高度で先進的な医療機能等の主要な医療機能 広島市安佐北区亀山南一丁目「荒下地区」(敷地面積 約 40,000 m²)</p> <p>イ 日常的に高齢者などの地域住民が受診できる医療機能等 広島市安佐北区可部南二丁目「現在地」(敷地面積 約 10,000 m²)</p> <p>2 荒下地区に整備する病院</p> <p>(1) 担うべき医療の基本的な方向性</p> <p>ア 高度で先進的な医療の拡充</p> <p>イ 災害拠点病院としての機能の拡充</p> <p>ウ 県北西部地域等の病院支援と患者の受け入れの拡充</p> <p>(2) 整備スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">今期中期計画</th> <th colspan="4">次期中期計画</th> </tr> <tr> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>33年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>← 基本計画</td> <td>→ 基本設計</td> <td>← 実施設計</td> <td>→</td> <td>建設工事</td> <td>→ H34年春開設 (見込み)</td> </tr> </tbody> </table>	今期中期計画				次期中期計画				26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度			← 基本計画	→ 基本設計	← 実施設計	→	建設工事
今期中期計画				次期中期計画																				
26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度																	
		← 基本計画	→ 基本設計	← 実施設計	→	建設工事	→ H34年春開設 (見込み)																	

事業年度評価結果（小項目）

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	3	3	3

(3) 整備費

(単位：百万円)

区分	今期中期計画				次期中期計画 (30年度～33年度)	合計
	27年度	28年度	29年度	(計)		
基本計画	20*			(20)		20
建 替 整 備 費	基本設計		180		(180)	180
	工事監理等		60	50	(110)	820
	実施設計			400	(400)	400
	建設費					20,490
	小計		240	450	(690)	21,310
	土地購入費					1,920
	医療機器購入費					7,330
			240	450	(690)	30,560
	合計	20	240	450	(710)	31,250
財 源	運営費負担金		120	10	(130)	575
	長期借入金			430	(430)	29,210
	自己財源	20	120	10	(150)	575
	補助金(へき地)					200
						200

(注) 平成29年度以降は、消費税率（地方消費税率を含む。）10%として整備費を見込んでいる。

3 現在の北館に整備する病院

(1) 担うべき医療の基本的な方向性

日常的に高齢者などの地域住民が受診できる医療機能等の拡充

(2) 整備スケジュール



(3) 整備費

(単位：百万円)

区分		次期中期計画 (30年度～33年度)
整備費	基本設計	15
	工事監理等	15
	実施設計	40
	建設費	920
	合計	990
財源	運営費負担金	7
	長期借入金	975
	自己財源	8

【主な取組】

- 建替え方針について広島市と連携して検討し、広島市において、平成 27 年 9 月に、高度で先進的な医療機能等を荒下地区に、日常的に高齢者などの地域住民が受診できる医療機能等を現在の北館に整備する機能分化整備方針が決定された。
- この機能分化整備方針を受けて、平成 28 年度に安佐市民病院整備室を設置し、執行体制の強化を図った。
また、設計、工事等の各段階におけるスケジュール、コスト、品質管理等のマネジメントを民間委託する CM（コンストラクションマネジメント）方式を導入し、限られた人員で業務を推進できる体制を構築することで、執行体制の効率化を図った。
- 次のとおり建替えの作業を進めた。
 - ① 荒下地区に整備する病院
 - ・基本計画を平成 28 年 10 月に策定した。
 - ・基本設計を平成 30 年 3 月に完了させた。
なお、基本設計は、当初、平成 30 年 1 月の完了予定であったが、各医療部門や病棟の配置、面積の確定に当たり、医療スタッフがより具体的なイメージを持って検討できるようにするために、実施設計において行う詳細な諸室の計画の一部を併せて行うこととしたため、この実施設計に係る期間を基本設計に含め、同年 3 月末まで延長して行った。
 - ② 現在の北館に整備する病院
 - ・広島市からの要請により安佐医師会が設置・運営することになったことを受け、広島市、安佐医師会及び法人の 3 者による「安佐市民病院の北館に整備する病院の準備調整会議」を開催し、病院の医療機能や整備計画について検討を行った。